

2019年12月期 第2四半期  
決算補足説明資料

2019年8月9日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

対前年同期比で増収減益／営業利益は大幅増

## 2019年第2四半期累計連結業績

売上高	： 4,001百万円	（前年同期比 + 31.1%）
営業利益	： 53百万円	（前年同期比 + 287.1%）
経常利益	： 22百万円	（前年同期比 ▲ 59.3%）

### ■ 売上高増加要因

- Mogar Music S.p.A.（Mogar社）を連結子会社としたことにより売上が増加＋769百万円
- ZOOM単体の売上は前年同期比6%増加

### ■ 営業利益増加要因

- 原材料の値上がりを製品の出荷価格に転嫁できたことにより売上総利益が増加
- Mogar社のリストラクチャリングが営業利益の増加に貢献＋26百万円

### ■ 経常利益減少要因

- Mogar社連結による支払利息の増加＋22百万円、為替レートが円高に推移したことによる為替差損の増加＋15百万円、和解金の計上 20百万円

(百万円)

	2018.12期 第2Q累計実績	2019.12期 第2Q累計実績	増減額	摘要
売上高	3,051	4,001	950	Mogar社連結による増加+769百万円
営業利益 (売上高営業利益率)	13 (0.5%)	53 (1.3%)	39	Mogar社連結による増加+26百万円
経常利益 (売上高経常利益率)	54 (1.8%)	22 (0.6%)	▲32	Mogar社連結による支払利息の増加+20百万円 為替差損の増加+1.5百万円 和解金の計上 20百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	43 (1.4%)	15 (0.4%)	▲27	
EBITDA	119	146	27	EBITDA=営業利益+※減価償却費+持分法投資損益
減価償却費	69	※67	▲1	※のれん償却額9百万円を含む
研究開発費	438	443	5	
為替差損益	▲17	▲33	▲15	
平均為替レート (円/米ドル)	109.2円	110.0円	0.8円	

## Mogar取扱いブランドが売上増に寄与

(百万円)

	2018.12期 第2Q累計実績	2019.12期 第2Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー	1,681	1,797	116	H5、H6の販売が堅調、前年下期発売H3-VRの新製品効果
マルチエフェクター	419	505	86	新製品G1/B1Fourシリーズの販売が好調
ハンディビデオレコーダー	163	293	130	前年下期発売Q2n4Kの販売が好調
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー	305	258	▲47	前年下期発売L-12の初期需要が一巡
プロフェッショナルフィールドレコーダー	258	251	▲6	
Mogar取扱いブランド	—	638	638	Mogar社が取扱うズーム以外のブランド製品
その他	223	257	33	
合計	3,051	4,001	950	

## Mogar社の連結により南ヨーロッパ地域の販売が増加

(百万円)

	2018.12期 第2Q累計実績	2019.12期 第2Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
南ヨーロッパ※ (イタリア・フランス・スペイン・ポルトガル)	273	1,139	866	Mogar取扱いブランド+638
北 米	994	973	▲20	販売代理店（ZNA）の在庫調整による売上減少、前年同期にF1シリーズ、L-12の販売が好調であったことによる反動減
日 本	341	375	34	新製品G1/B1Fourシリーズの販売が好調
中央ヨーロッパ※ (ドイツ・ベネルクス3国・オーストリア・ポーランド・チェコ・スロバキア・バルト3国等)	377	293	▲84	販売代理店の在庫調整による売上減少、前年同期にF1シリーズ、L-12の販売が好調であったことによる反動減
イギリス	204	244	40	新製品Q2n-4K、G1/B1FOURシリーズの販売が好調
中 国	126	122	▲3	
オーストラリア	59	71	12	新製品G1/B1Fourシリーズの販売が好調
ロシア	58	71	13	ハンディオーディオレコーダーの販売が堅調
その他	615	707	92	韓国+31、フィリピン+21、ブラジル+17
合計	3,051	4,001	950	

※Mogar社を連結子会社としたことにより地域区分を変更いたしました。

# 2019年12月期 第2四半期 連結貸借対照表（要約）



(百万円)

	18.12期末	19.12期 第2Q末	増減額	増減要因
<b>流動資産</b>	<b>6,899</b>	<b>6,187</b>	<b>▲711</b>	
現預金	2,942	2,058	▲884	売掛金の増加、買掛金の支払いによる減少
売掛金	1,161	1,397	235	19.12期2Qに販売代理店（ZNA）向け売上が増加
商品及び製品	2,146	2,123	▲23	
<b>固定資産</b>	<b>1,035</b>	<b>1,151</b>	<b>116</b>	
有形固定資産	206	381	175	IFRS第16号適用によるMogar社保有資産の増加、金型の増加
無形固定資産	259	272	13	
投資その他の資産	569	497	▲72	
<b>資産合計</b>	<b>7,934</b>	<b>7,339</b>	<b>▲595</b>	
<b>流動負債</b>	<b>3,052</b>	<b>2,525</b>	<b>▲527</b>	
買掛金	1,336	973	▲363	18.12期末は旧正月前の在庫確保により仕入が増加
短期借入金	1,174	977	▲196	
<b>固定負債</b>	<b>149</b>	<b>190</b>	<b>41</b>	
<b>負債合計</b>	<b>3,201</b>	<b>2,716</b>	<b>▲485</b>	
<b>資本金</b>	<b>212</b>	<b>212</b>	<b>—</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>4,732</b>	<b>4,622</b>	<b>▲109</b>	配当金の支払等により利益剰余金が減少
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,934</b>	<b>7,339</b>	<b>▲595</b>	

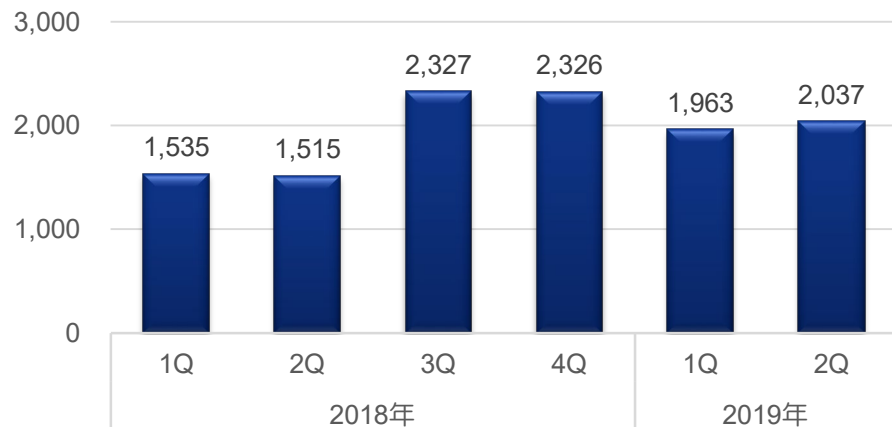
(百万円)

	18.12 第2Q累計実績	19.12期 第2Q累計実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲379	▲463	▲84
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲239	▲78	160
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲80	▲296	▲215
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲38	▲47	▲8
現金及び現金同等物の増減額	▲738	▲885	▲147
現金及び現金同等物の期首残高	3,485	2,913	▲572
現金及び現金同等物の期末残高	2,747	2,027	▲719

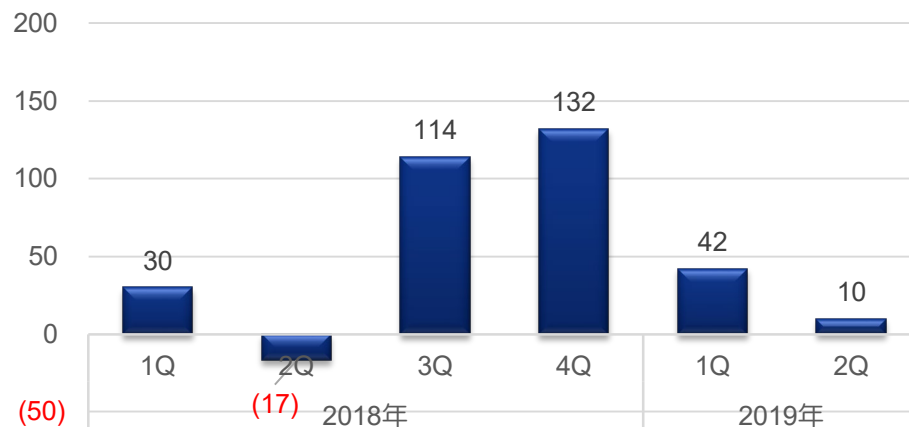
## ■ 2019年12月期 第2四半期のキャッシュ・フロー (CF) 増減要因 (百万円)

- 営業活動によるCFの主な要因：売上債権増加▲250／仕入債務減少▲353
- 投資活動によるCFの主な要因：有形固定資産取得▲100
- 財務活動によるCFの主な要因：短期借入金の減少▲163／配当金の支払▲98

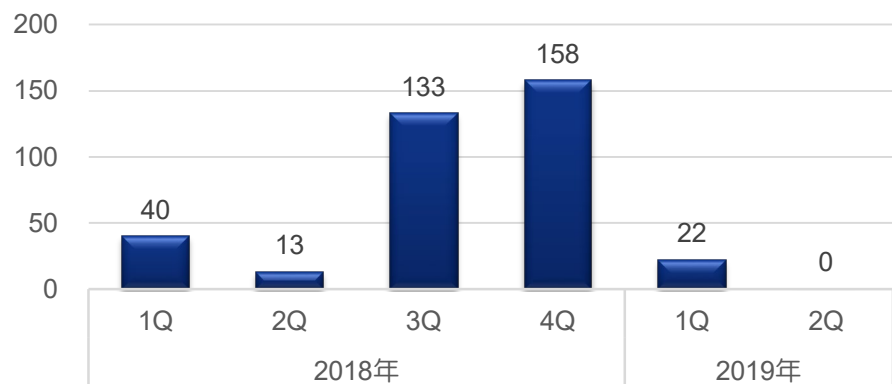
## 売上高 (百万円)



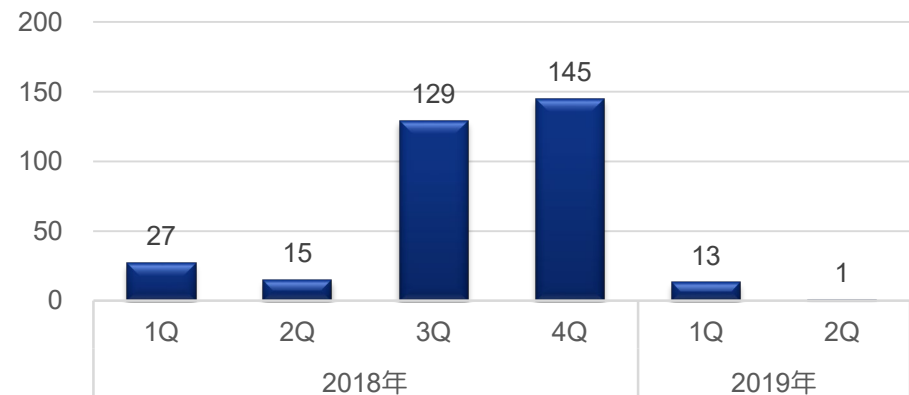
## 営業利益 (百万円)



## 経常利益 (百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



売上及び利益は下半期に多くなる傾向



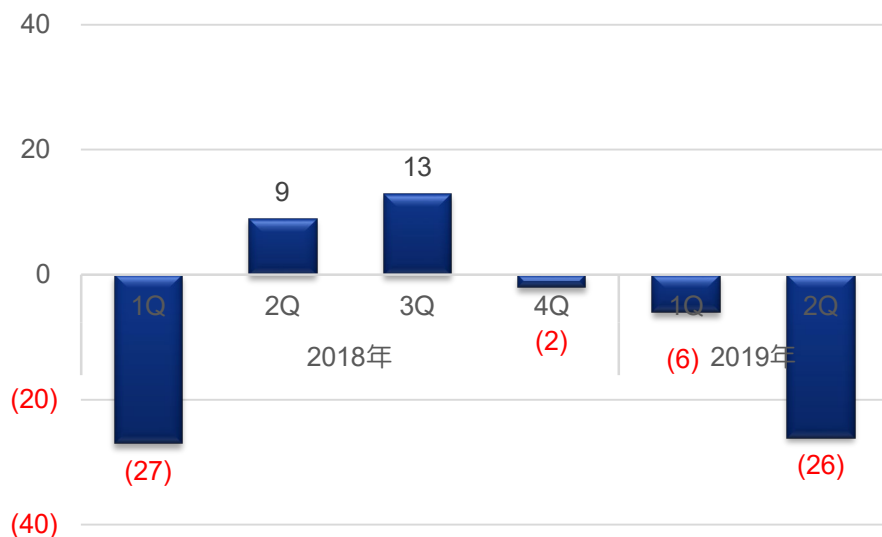
## 経常利益変動要因 ①為替差損益

主として、為替変動により正味ドル建資産から生ずる為替換算差額

ドル建資産とドル建負債の残高をなるべくマッチングさせるヘッジ（いわゆる為替マリー）を実施しているがいくらかの為替差損益は発生する

### 為替差損益

(百万円)

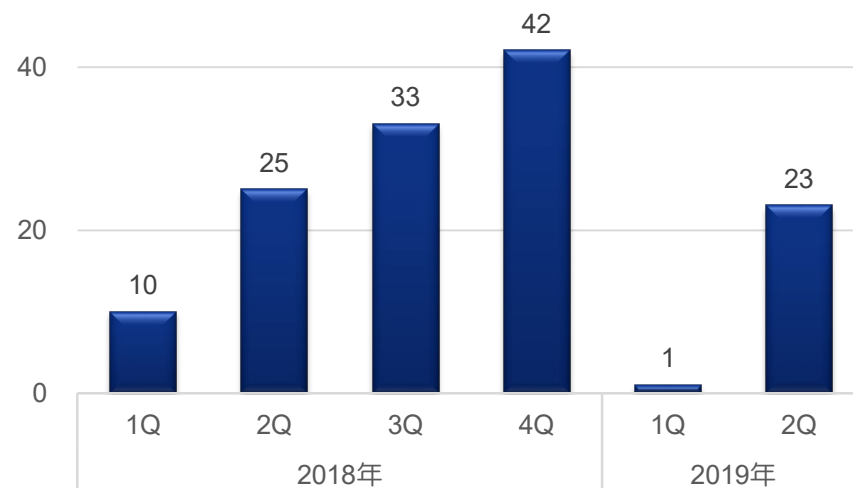


## 経常利益変動要因 ②持分法投資損益

持分法適用会社である、ZOOM North America LLC (ZNA)とZOOM UK Distribution Ltd の持分法投資損益  
年末商戦の影響により年の後半にかけて両社の利益は増加する傾向にある

### 持分法投資損益

(百万円)



※持分法投資損益＝持分法投資利益－租税公課（ZNAの法人税相当）

(百万円)

	18.12期 実績	19.12期				
		予想	増減額	増減率	2Q実績	達成率
売上高	7,705	8,540	+834	+10.8%	4,001	47%
営業利益	260	616	+355	+136.6%	53	9%
経常利益	346	673	+326	+94.4%	22	3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	318	473	+154	+48.5%	15	3%
EBITDA	601	864	+262	+43.6%	146	17%

一株当たり当期純利益	140.31円	207.62円	67.31円	+48.0%
一株配当	43円	63円	+20円	+46.5%
配当性向	30.6%	30.3%	—	—
為替レート (円/米ドル)	110.4円	108円	—	—

※当社の売上及び利益は年末商戦に合わせて下期に増加する傾向があり、連結業績予想に変更はありません。

為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約20百万円減少（増加）

(百万円)

	18.12期 実績	19.12期				
		予想	増減額	増減率	2Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー	4,073	3,609	▲463	▲11.4%	1,797	50%
マルチエフェクター	836	1,098	+262	+31.4%	505	46%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー	639	769	+129	+20.3%	258	34%
プロフェッショナルフィールドレコーダー	591	690	+99	+16.8%	251	36%
ハンディビデオレコーダー	357	536	+178	+49.8%	293	55%
Mogar取扱いブランド	680	1,237	+556	+81.9%	638	52%
その他	526	597	+71	+13.5%	257	43%
合計	7,705	8,540	+834	+10.8%	4,001	47%